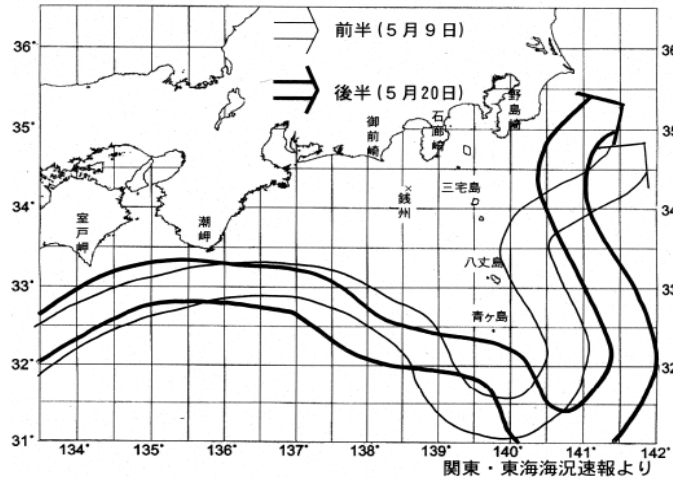


漁海況月報

平成 28 年 5 月 1 日

No. 5 ~5月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



5月定地水温の旬平均値() (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	17.8	18.2	17.3	18.5	18.8	18.4
	0.8	1.6	0.4	0.8	0.5	0.9
中旬	19.0	18.7	17.9	19.2	19.6	19.5
	1.1	1.3	0.3	0.7	0.7	1.1
下旬	19.5	20.2	19.7	20.1	20.3	20.5
	0.7	2.0	1.3	0.6	0.7	1.3
月	18.8	19.1	18.4	19.3	19.6	19.6
	0.9	1.6	0.8	0.7	0.7	1.2

[黒潮流路]

5月前半は、C型で遠州灘沖の北緯33°付近から南東に進み、北緯31°東経140°付近まで南下した後、北緯33°付近にまで北上して房総半島からは離岸して北東に流去した。蛇行南端の黒潮内測域(北緯32°東経140°付近)には冷水渦を伴った。

5月後半もC型で蛇行南端は北緯31°に達していたが、5月下旬後半には蛇行南端が北緯32°付近に北上した。

[県下沿岸域]

5月は、上旬から下旬を通じて、相模湾側の稲取では、やや高め~高めであったが、相模湾側の伊東、下田、並びに駿河湾側では、やや高めであった。

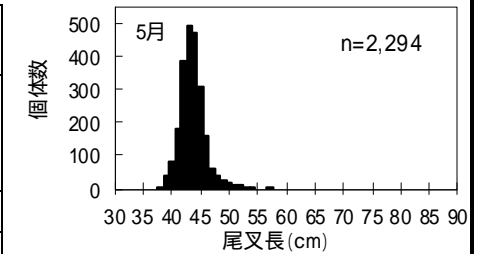
[竿釣カツオ]

5月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオ(近海船+沿岸船)の水揚量は231トンで前年同期の133%であった。魚価は507円/kgで、前年同期を上回った。

上旬は前月に続き低調な漁模様だったが、中旬以降、33~34°N、138~140°Eの伊豆諸島北部海域から遠州灘沖にかけて沿岸船による操業が行われ、極小~小小カツオ(尾叉長43cmモード)を主体に漁獲した。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
28年5月上旬	18	9	2.0	623
中旬	86	20	4.3	486
下旬	127	39	3.3	505
28年5月計	231	68	3.4	507
27年5月計	174	32	5.4	436
26年5月計	178	38	4.7	382



御前崎港における測定結果

[定置網]

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は303トンで前年の同漁場の水揚量(459トン)の0.66倍であった。また、1か統あたりの水揚量は43.2トンで前年(65.5トン)の0.66倍、平年(昭和57~平成27年の平均72.7トン)の0.60倍であった。

7か統の魚種別水揚量は、さば類、ブリ、カタクチイワシ、マルソウダ、マイワシの順に多かった。さば類の水揚量90.8トンのうち、赤沢漁場が33%(30.0トン)、富戸漁場が22%(20.4トン)を占めた。ブリの水揚量81.3トンのうち、川奈漁場が57%(46.7トン)、古網漁場が16%(12.7トン)を占めた。カタクチイワシの水揚量33.8トンのうち、赤沢漁場が32%(10.7トン)、古網漁場が31%(10.3トン)を占めた。マルソウダの水揚量23.2トンのうち、古網漁場が42%(9.7トン)、川奈漁場が23%(5.2トン)を占めた。マイワシの水揚量16.7トンのうち、古網漁場が81%(13.5トン)、伊豆山漁場が12%(2.1トン)を占めた。

なお、ブリは銘柄わらさ主体で、前年を下回ったものの(前年比0.83倍)平年を上回る(平年比3.92倍)漁獲であった。また、アカカマス(前年比3.69倍、平年比2.57倍)やアオリイカ(前年比2.94倍、平年比1.50倍)は、前年、平年を上回る好調な漁獲であった。一方、さば類は前年比0.42倍、平年比0.71倍、マアジについても前年比0.32倍、平年比0.09倍と低調な漁獲であった。

漁場別の水揚量では、川奈漁場が79.3トン(ブリ、さば類、マルソウダ)、古網漁場が69.7トン(マイワシ、ブリ、カタクチイワシ、マルソウダ)の順に多かった。

<参考表> 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	90.8	0.4	0.7	赤沢、富戸、川奈、北川
ブリ	81.3	0.7	3.2	川奈、古網、北川
カタクチイワシ	33.8	1.8	0.8	赤沢、古網、伊豆山
マルソウダ	23.2	0.9	0.4	古網、川奈、谷津
マイワシ	16.7	-	0.8	古網、伊豆山、北川、谷津

[サバたもすくい棒受網]

小川港にはマサバが3トン(前年同月比27%)、ゴマサバが392トン(前年同月比54%)水揚げされ、1隻あたりの水揚量はマサバ0.1トン(前年同月0.4トン)、ゴマサバ17.0トン(前年同月30.0トン)であった。1kgあたり平均単価はマサバ228円で前月(105円)前年同月(83円)を上回った。ゴマサバは98円で前月(101円)を下回ったが、前年同月(78円)を上回った。

今月は主に棒受網で操業し、上旬は銭洲、中旬以降は三宅島周辺海域を中心に漁場が形成された。漁獲されたゴマサバは27cmにモードを持つ2歳魚主体であった(マサバの測定は行っていない)。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(ト)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(ト)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
28年5月上旬	3	49	1	3	0.9	16.2	229	101	銭洲、三宅
中旬	0	124	3	6	0.0	20.6	216	103	三本
下旬	-	219	6	14	-	15.7	-	95	三本、三宅
28年5月計	3	392	10	23	0.1	17.0	228	98	三本、三宅、銭洲
27年5月計	10	719	9	24	0.4	30.0	83	78	御蔵、三宅、三本
26年5月計	226	599	12	38	5.9	15.8	187	92	三本、三宅、大室出し

* 水揚量は、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。
* 年齢は1月に加齢する。

[サクラエビ船曳網]

平成28年5月の出漁日数は13日(前年同月9日)、水揚量は589トン(前年同月407トン)で、1日1か統あたりの漁獲量は755kgであった(前年同月753kg)。

主な漁場は湾西部(焼津・大井川沖)に加え湾奥部(田子の浦沖~富士川沖)にも形成された。水揚げされたサクラエビの体長組成をみると、体長37mm付近にモードを持つ群れで構成されていた。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量(ト)	日数	1日1か統当り平均漁獲量(kg)	漁 場
平成28年5月上旬	105.4	3	586	焼津・大井川沖
中旬	285.7	6	793	焼津・大井川沖、富士川沖
下旬	198.1	4	825	焼津・大井川沖、富士川沖
平成28年5月計	589.2	13	755	焼津・大井川沖、富士川沖
平成27年5月計	406.5	9	753	焼津・大井川沖
平成26年5月計	484.5	9	897	焼津・大井川沖
平成25年5月計	591.8	14	705	焼津・大井川沖、富士川沖

* 水揚量は、旬ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が582kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が697kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は663kgと前年同期(973kg)の68%、平年同期(816kg)の81%と前年同期、平年同期を下回った。また、総水揚量は1,481.6トンで前年同

期(2,402.4トン)の62%、平年同期(1,809.7トン)の82%と、前年同期、平年同期ともに下回った。平均単価は483円/kgと、前年同期(451円/kg)、平年同期(367円/kg)を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新居	165.5	18	245	675	383
舞阪	521.1	18	761	685	491
福田	310.0	16	417	743	376
御前崎	101.0	14	153	660	459
吉田	228.0	17	340	671	491
静岡	155.9	16	320	487	777
平成28年5月計	1,481.6	99	2,236	663	483
平成27年5月計	2,402.4	107	2,468	973	451
平成26年5月計	2,618.3	108	2,581	1,015	292

* 各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。
* 平年同期：過去5か年(平成23~27年)平均値

[まき網]

小川港のマイワシの水揚げは22.3トンで、平年同期(11.6トン)の191.7%、昨年同期(21.2トン)の105.3%であった。沼津港のマイワシの水揚げは181.0トンで、平年同期(90.0トン)の201.2%、昨年同期(78.9トン)の229.4%であった。静岡港のマイワシの水揚げは0.8トンで、平年同期(0.13トン)の6倍、昨年同期(0.001トン)の808倍であった。伊東港の水揚げは95.0トンで、平年同期(13.6トン)の7倍、昨年同期(2.5トン)の38倍であった。

カタクチイワシの水揚げは、小川港で7.2トン、沼津港で65.7トン、静岡港で8.1トン、伊東港で12.8トンであった。

なお、伊豆東岸定置網8か統の水揚げは、マイワシが20.5トン、カタクチイワシが36.3トンであった。
* 平年同期：過去5か年(平成23年~27年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

5月 9日 ~ 5月 10日	地先定線観測調査	(2日間)
5月 12日 ~ 5月 13日	いわし類卵稚仔分布調査(ユーストネット)	(2日間)
5月 16日	ふぐ稚魚調査(ユーストネット)	(1日間)
5月 18日 ~ 5月 19日	さば標識放流調査	(2日間)
5月 23日 ~ 5月 26日	伊豆諸島周辺カツオ魚群分布調査	(4日間)
5月 30日 ~ 5月 31日	いわし類卵稚仔分布調査(ユーストネット)	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

